第3版 2026年11月4日更新

「どこで・何を・誰と」を見極める
IPランドスケープ

令和８・９年度
IPランドスケープ支援事業
【第4回公募】
説明会

独立行政法人 工業所有権情報・研修館（INPIT）
知財活用支援センター　知財戦略部　（スタートアップ支援担当）

知を以て財を為す～ ビジネスに生かす知財支援はINPIT～

IPランドスケープ支援事業とは

本事業は、

経営や事業の課題に対する経営者の意思決定やアクションを

市場や事業、知財等の情報の分析を通じて、ご支援する事業です。

いま、企業の強みは「見える強み」から「見えない強み（知財等）」へ変化しています。

そのため、企業の経営戦略や事業戦略を検討する際に、自社の「強み」やライバル企業の状況、市場や技術開発の動向などをふまえた戦略を策定するためには、知的財産の情報も加味することが欠かせません。

本事業では、「市場」や「事業」の情報に「知財」の情報を合わせた分析を行い、企業の抱える経営や事業の課題に対して、強みを活かした意思決定やアクションをご支援いたします。

※「IPランドスケープ」は登録商標です。

本事業の概要と価値

本事業では、市場や事業の情報に加え、企業等の強みである「知財」の情報を組合せ、強みを踏まえた経営層の意思決定やアクションをご支援します。

本事業での支援内容

before

新規事業をしたいけど、どんな市場がいいの？

⇒新規参入すべき市場が絞り込めていない

どんな製品なら競合に勝てる？

⇒製品開発での差別化の方向性が定まっていない

他社と連携したいけど、誰と組めばよいのか？

⇒シナジーのある連携先が見えていない

本事業での支援内容

Step1
課題を踏まえた、調査方針のすり合わせ

Step2
運営・調査員と専門家による調査/分析

Step3
調査経過の報告・議論（深掘りすべき領域等をすり合わせ）

Step4
調査結果の報告・今後のアクションに関する議論





運営・調査員＆専門家

after

Ⅰ 市場探索型（Where to Play）
IPランドスケープの提供で・・・

強みが価値につながる市場がわかった！

Ⅱ 製品開発型（What to Create）
IPランドスケープの提供で・・・

強みを活かした競争力のある製品の方向性が見えた！

Ⅲ 連携探索型（With Whom）
IPランドスケープの提供で・・・

強みの相乗効果で価値を生みだせる連携相手が見つかった！

本事業での「IPランドスケープ」の考え方

本事業では、以下のように「誰」が「何をする」ために「何を使う」かを重視しており、この考え方に即して支援の設計や採否の審査を行っています。

本事業における「IPランドスケープ」では

（誰が）　経営層が

（何をする）　意思決定やアクションに

（何を使う）　知財の情報を活用する　事を重視しています。

したがって、本事業では・・・

（支援の対象について）

- **知財の侵害予防調査や出願方針の検討等、一般的に知財部門や知財担当者が管轄するような事項を目的の分析は支援対象外です。**
- **知財の情報を使わない分析（例：財務調査/ニーズ調査のみ）は支援対象外です。**

（採否の審査について）

- **IPL支援事業を活用して、どのような意思決定やアクションに繋げることを意図しているのかという点を重視しています。**

利用申請～ご支援の流れ

ステップ	概要	利用者様に実施頂く事項
1.利用申請 ～審査・採択	• 利用申請フォームを入力・送信 • 事務局にて採択／不採択を審査 （結果は公募〆切の約3週間後に通知予定）	**利用申請フォームの入力・送信** • 知財総合支援窓口で利用申請フォームの入力についてアドバイスを受けることが可能です。
2.ヒアリング	• 運営・調査員と専門家がヒアリングとともに、IPLのアウトプットイメージを説明し、ニーズと成果物をすり合わせます。	**ヒアリングでの議論** • 原則対面でヒアリングを行います。（オンラインをご希望の場合には、ご相談ください） • 担当者・経営層の両名の参加が必須です
3. 報告書作成	• ヒアリングですり合わせた内容をもとに、運営・調査員と専門家が報告書の作成を進めます。	**適宜情報の提供等** • 効果的な分析のため、情報提供の要請があった際には可能な範囲でご協力ください。
4.中間報告	• 運営・調査員と専門家による調査経過の報告・議論を通して、深掘りする領域を絞り込む（一例です）	**中間報告会での議論** • 原則オンラインで中間報告会を行います。（対面打合せが必要な場合には、ご相談ください） • 担当者・経営層の両名の参加が必須です
5. 報告書最終化	• 中間報告会での議論結果を踏まえ、報告書を最終化	**適宜情報の提供等** • 効果的な分析のため、運営・調査員や専門家より情報提供の要請があった際には可能な範囲でご協力ください。
6.報告会	• 運営・調査員と専門家による最終結果の報告・議論を通して、課題解決への次のアクションを特定（一例です）	**報告会での議論** • 原則オンラインで報告会を行います。（対面打合せが必要な場合には、ご相談ください） • 担当者・経営層の両名の参加が必須です
7.フォローアップ調査	• 本支援がどう活用され、どのようなアクションにつながったかを調査	**フォローアップ調査への対応** • アンケート及びオンラインのヒアリングにて、フォローアップ調査を実施いたします。

【過年度からの変更】
ヒアリングを原則対面とし、利用者様とのコミュニケーションをより円滑にすることで、コア技術・ニーズ把握等の精度を向上。

審査結果通知から報告書まで3か月程度

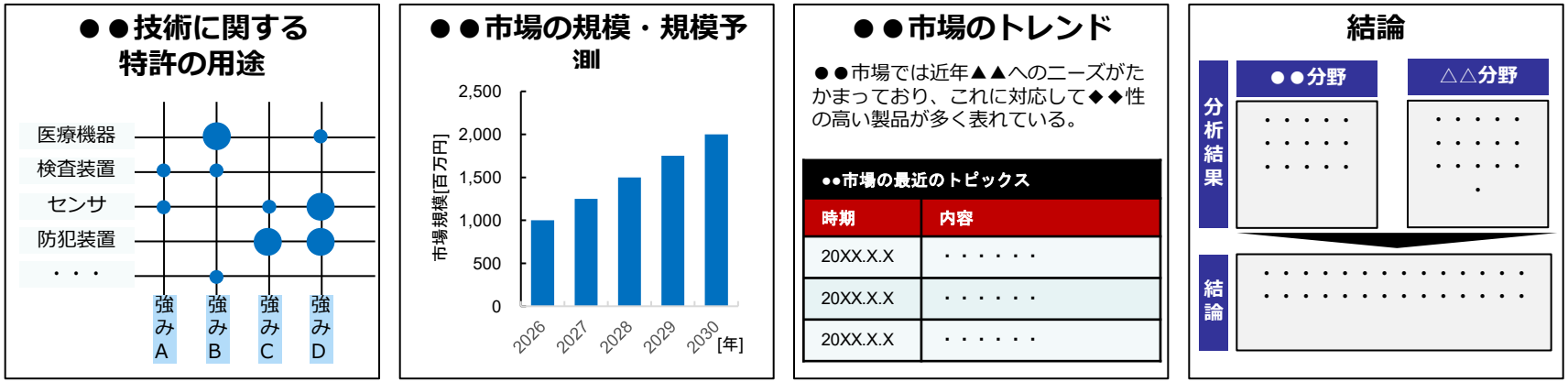
支援内容例の紹介Ⅰ　市場探索型（Where to Play）IPランドスケープのアウトプット例

本事業の支援内容の一例として、**自社の強みを起点に参入すべき市場を特定する「市場探索型IPL」**をご紹介します。特許情報をもとに技術の用途展開可能性を可視化し、市場情報と組み合わせることで、有望な参入領域を具体的に導き出します。

【市場へのアプローチを設計するためのアウトプット】

	1.技術の用途展開可能性の特定	2.市場性の評価（規模・成長性・トレンド）	3.有望市場の特定と示唆
実施事項の概要	自社技術に類似する特許を分析し、どの用途で活用されているかを把握。技術の転用可能性がある領域を抽出します。	候補市場について、市場規模・成長性・競争環境・トレンドを整理し、参入余地と将来性を評価します。 ※市場規模のデータを収集するのが困難な分野では、市場見通しに関連する他の情報を収集するなど、分野に応じて実施可能な分析は異なります。	分析結果を統合し、技術の強みが最も発揮される市場を特定し、参入優先順位と具体的な方向性を提示します。

アウトプットイメージ



このような課題に対応します：

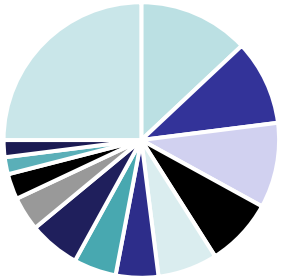
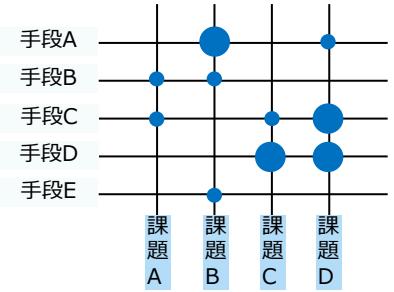
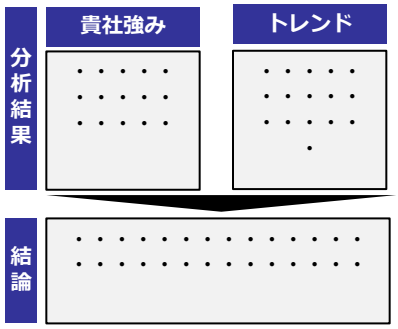
- 自社技術を活かして新市場に展開したいが、対象領域が広く、優先順位を決められない
- 技術の強みが「どの市場で評価されるか」が分からず、事業化の方向性が定まらない

技術の可能性を「市場機会」に変えましょう！

支援内容例の紹介Ⅱ　製品開発型（What to Create）IPランドスケープのアウトプット例

次に、**参入する業界は決まっているものの、競争優位を築くための製品開発の方向性に課題を抱える企業向けの「製品開発型IPL」**の例をご紹介します。特許情報を用いた技術競争分析と市場トレンドの把握により、自社が勝てるポジションと具体的な差別化の方向性を導き出します。

【開発戦略を設計するためのアウトプット】

	1.競争構造の把握(主要プレイヤー・ポジション)	2.技術競争の構造分析（課題×解決手段）	3.市場トレンドの把握（ニーズ・変化）	4. 差別化戦略と開発の方向性の提示
実施事項の概要	主要プレイヤーの市場シェア・特許動向を分析し、業界の競争構造とポジショニングを把握します。	特許情報から各社がどの課題に対してどのような解決手段を持つのかを整理し、技術競争の軸と自社の強み・弱みを明確化します。	市場ニーズや業界トレンドを整理し、今後求められる価値・方向性を把握します。	分析結果を統合し、自社が競争優位を築くための差別化戦略と開発方向を提示します。
アウトプットイメージ	●●業界の 主要プレーヤー 	●●技術に関する A社の保有特許概要 	●●市場のトレンド ●●市場では近年▲▲へのニーズがたかまっており、これに対応して◆◆性の高い製品が多く表れている。 ●●市場の最近のトピックス 時期 / 内容 20XX.X.X / ・・・・・・ 20XX.X.X / ・・・・・・ 20XX.X.X / ・・・・・・	結論 

このような課題に対応します：

- 参入業界は決まっているが、大手企業との競争の中でどの領域で勝つべきかが不明確
- 技術要素はあるものの、競争優位につながる差別化軸と開発の方向性が整理できていない

競争環境の分析から「勝てる開発戦略」を立てましょう！

支援内容例の紹介Ⅲ-①　連携探索型①（With Whom）IPランドスケープのアウトプット例

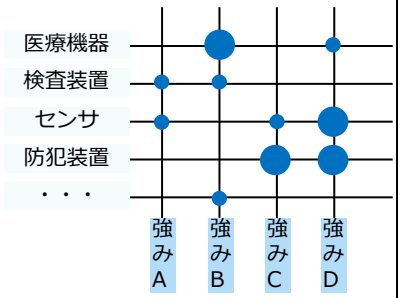
つづいて、**自社の技術・リソースを活用し事業化を加速するパートナーを探索する「連携探索型IPL①」**の例をご紹介します。特許情報と市場・事業情報をもとに、自社技術の価値を最大化できる用途・連携先を明確化し、シナジーの高い企業候補と具体的な事業展開の方向性を提示します。

【連携先選定の意思決定に使えるアウトプット】

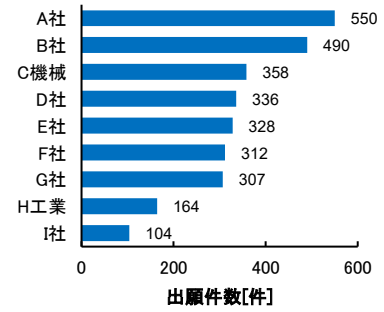
	1.技術の用途展開可能性の特定	2.候補企業の抽出（特許×事業情報）	3. 連携領域の市場性評価	4.有望パートナーの特定と連携方針の提示
実施事項の概要	ヒアリングを通じて、自社のコア技術の特徴や強みを整理し、どのような用途・市場で価値を発揮できるかを明確化します。	設定した条件に基づき、特許情報および事業情報をもとに、条件に合致する企業候補を抽出します。	候補用途の市場規模・成長性・ニーズを整理し、事業化の可能性が高い領域を評価します。	分析結果を統合し、シナジーの高い企業と具体的な連携の方向性を提示します。

アウトプットイメージ

●●技術に関する特許の用途



●●技術の出願件数



●●市場のトレンド

●●市場では近年▲▲へのニーズがたかまっており、これに対応して◆◆性の高い製品が多く表れている。

●●市場の最近のトピックス	
時期	内容
20XX.X.X	・・・・・・
20XX.X.X	・・・・・・
20XX.X.X	・・・・・・

結論

連携相手としては、●●が最も好適と考えられる。

企業	条件1	条件2	条件3
A社	評価コメント：	評価コメント：	評価コメント：
C社	評価コメント：	評価コメント：	評価コメント：
D社	評価コメント：	評価コメント：	評価コメント：

このような課題に対応します：

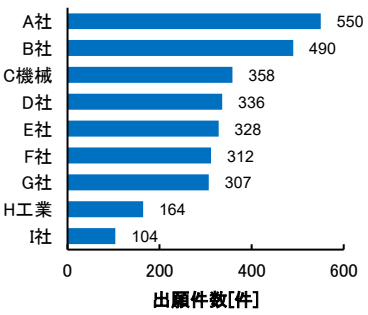
- 自社にコア技術はあるが、どの用途・市場で活かしてもらえるか分からない
- 連携の必要性は認識しているものの、どの企業と組むべきか判断できない

自社技術の価値を最大化するパートナーを“戦略的に”見つけましょう！

支援内容例の紹介Ⅲ-② 連携探索型②（With Whom）IPランドスケープのアウトプット例

最後に、**自社が保有する技術・リソースの不足を補完してくれる開発パートナーを探索する「連携探索型IPL②」**の例をご紹介します。特許情報と事業情報をもとに連携条件を明確化し、当該技術を取り込むことでシナジーが期待できる企業候補と具体的な連携の方向性を提示します。

【連携先選定の意思決定に使えるアウトプット】

	1.不足要件の定義（技術・事業・戦略）	2.候補企業の抽出（特許×事業情報）	3. 連携領域の市場性評価	4.有望パートナーの特定と連携方針の提示
実施事項の概要	ヒアリングを通じて、自社の不足要素を整理し、連携に求める条件（技術・事業領域・役割）を明確化します。	設定した条件に基づき、特許情報および事業情報をもとに、条件に合致する企業候補を抽出します。	連携対象となる市場・事業領域のトレンドを整理し、連携による成長可能性・市場性を評価します。	分析結果を統合し、シナジーの高い企業と具体的な連携の方向性を提示します。
アウトプットイメージ	**連携相手探索の条件の整理** 連携相手の条件 #／条件／重要度 1／●を★する技術を保有／必須 2／企業規模●程度／中 3／△の抑制技術を保有／低 4／◆地域に開発拠点／中	**●●技術の出願件数** 	**●●市場のトレンド** ●●市場では近年▲▲へのニーズがたかまっており、これに対応して◆◆性の高い製品が多く表れている。 ●●市場の最近のトピックス 時期／内容 20XX.X.X／・・・・・・ 20XX.X.X／・・・・・・ 20XX.X.X／・・・・・・	**結論** 連携相手としては、●●が最も好適と考えられる。 企業／条件１／条件２／条件３ A社／評価コメント：／評価コメント：／評価コメント： C社／評価コメント：／評価コメント：／評価コメント： D社／評価コメント：／評価コメント：／評価コメント：

このような課題に対応します：

- 自社にコア技術はあるが、製品化・事業化に必要なリソースが不足している
- 連携の必要性は認識しているものの、どの企業と組むべきか判断できない

自社技術の不足要件を満たすパートナーを“戦略的に”見つけましょう！

応募の要件（対象者の要件）

以下の１～７のいずれかに該当する方からの応募を受け付けます。

1. 中堅・中小企業※1、個人事業者、中堅・中小企業者で構成されるグループ※2
2. 地方公共団体
3. 公設試験研究機関
4. 都道府県等中小企業支援センター
5. 商工会議所や商工会等
6. 事業協同組合
7. 大学、高等専門学校、高等学校等の教育機関　等

※１：中堅・中小企業について

- 本事業での中堅企業・中小企業の定義は以下の通りとします。
  - ✓ 中堅企業：常時使用する従業員の数が2,000人以下の会社等（中小企業者を除く）
  - ✓ 中小企業：下表の資本金の額（出資の総額）、又は、従業員の数のどちらか一方の要件を充たすこと

業種	資本金の額又は出資の総額	常時使用する従業員の数
製造業、建設業、運輸業、その他の業種	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下

- 単独の大企業が1/2以上出資、複数の大企業が2/3以上出資の中堅・中小企業は対象外となります。
- 特許情報の分析や知財情報の提供を業として実施している企業は対象外となります。

※２：中堅・中小企業で構成されるグループについて

- 典型的には、事業協同組合、企業組合、協業組合等を想定しております。また、連合会であっても、連合会の構成員が中堅・中小企業者で構成されるグループであると判断できれば支援対象となります。
- 構成員のうち中堅・中小企業者が3分の2以上を占め、中堅・中小企業者の利益となる事業を営む者が対象となります

その他詳細な要件については、事業ページ内の公募要領にてご説明しております。
こちらも応募前に必ずご一読下さい。

ご留意事項

- 申込み時や支援のご提供後に、INPITもしくはIPランドスケープ支援事業事務局（受託者である株式会社テックコンシリエ）が実施する、当事業の支援に対するアンケート及びヒアリング（フォローアップ調査）にご協力いただきます。
- 支援結果（報告書）は公表されません。ただし、事例集への支援事例掲載をINPITもしくはIPランドスケープ支援事業事務局よりお願いさせていただく場合がございます。事例集での開示内容につきましては、事前に採択企業様にご確認させていただきます。また、本事業に採択された場合、企業名・大学名等をINPITのHPにて公表させていただく場合がございます。
- 経営層の参加が必須となるヒアリング・報告会がございます。事前に社内で合意を取ったうえでのお申込みをお願いいたします。
- 利用申請が採択された後のキャンセルはお受けいたしかねますのでご留意ください。
- 継続的な支援を目的として、利用申請フォームに記載の申請者所在地の知財総合支援窓口が、本事業のヒアリング等への参加や、支援に関する連絡をする場合があります。
- 申請が採択となった後の事務局や支援を担当する専門家とのやり取りは、基本的に事務局より提供する本事業専用のオンラインシステム「IPL支援ポータル」上のチャット機能やデータ授受機能を使用して行う予定です（原則、メールや電話でのやり取りは基本的には行わない予定です）。

利用申請

本事業の利用申請は「個人情報・秘密情報及び選考結果の取扱い」の内容にご同意いただいたうえで、利用申請フォームから送信してください。

①　利用申請フォームの入力・送信方法

公募受付期間中に、「IPL支援ポータル」の利用申請フォームに必要事項を記載の上、送信してください。メール、郵送、FAX等その他の方法による使用申請は受け付けることができません。

利用申請フォームの受領から2営業日以内に、「IPL支援ポータル」にて事務局より受領確認のメッセージをお送りいたします。利用申請フォーム送信日から3営業日以上が経過しても事務局から連絡がない場合は、お手数ですが7．に記載のメールアドレス宛に、ご一報ください。

②　利用申請フォームの送信にあたっての注意事項

利用申請フォームは以下2種類がございます。申請者の組織に適合したフォームをご使用ください。

- 現時点で事業を行われている申請者様用
- 大学・公設試等研究機関の申請者様用
  ※スタートアップ等、現時点で事業を実施されていない申請者様は、「大学・公設試等研究機関の申請者様用」の利用申請フォームをご利用ください。

申請フォーム内の以下のすべてセクションに必要事項をご記入の上、ご送信ください。

- 同意事項
- チェックリスト
- 基本情報
- 窓口の支援
- 設問
- 補足資料

審査について（1/2）

送信された利用申請フォームの記載内容に基づいて審査を行います。
審査結果は「IPL支援ポータル」にてご連絡いたします。審査の観点は以下の通りです。

【現時点で事業を行われている申請者様向けの審査観点】

#	設問	評価の観点
1	対象事業の現在・将来に関する設問	現在の分析、将来の構想の分析が、IPランドスケープの分析結果を今後の活動方針の策定に活かしうるだけの具体性があるか。特に下記について具体的に回答されているか。 (#1-1)将来の①価値②製品やサービス③ビジネスモデル④重要な経営資源が明確になっているか (#1-2)現在の①価値②製品やサービス③ビジネスモデル④重要な経営資源が明確になっているか (#1-3)将来の構想を実現するための課題が、現在を踏まえたうえで明確に検討されているか。また、課題に対する対応や検討が進められているか。
2	本事業による支援のイメージに関する質問	本事業による支援をとおして解決したい課題は、経営層が検討する企業戦略や事業の全体戦略に関する課題であるか。
		本事業による支援をとおして解決したい課題は、本事業の支援で解決に寄与できるものか。
3	支援後の活用ビジョン	IPランドスケープの分析を、経営判断やアクションに活用するためのビジョンが十分に明確に描けているか。
		上記について、ビジョンのみならず、実現を可能にする体制があるか。

審査について（2/2）

【大学・公設試等研究機関の申請者様向けの審査観点】

※スタートアップ等、現時点で事業を実施されていない申請者様は、「大学・公設試等研究機関の申請者様用」の利用申請フォームをご利用ください。

#	設問	評価の観点
1	対象事業の現在・将来に関する設問	現在の分析、将来の構想の分析が、IPランドスケープの分析結果を今後の活動方針の策定に活かしうるだけの具体性があるか。特に下記について具体的に回答されているか。 (#1-1)将来の①価値②製品やサービス③ビジネスモデル④他社との違いや競争力が明確になっているか (#1-2)現在の研究成果（シーズ）の社会実装に向けた活動状況が明確に説明されているか (#1-3)将来の構想を実現するための課題が、現在を踏まえたうえで明確に検討されているか。また、課題に対する対応や検討が進められているか。
2	本事業による支援のイメージに関する質問	本事業による支援をとおして解決したい課題は、経営層が検討する企業戦略や事業の全体戦略に関する課題であるか。
		本事業による支援をとおして解決したい課題は、本事業の支援で解決に寄与できるものか。
3	支援後の活用ビジョン	IPランドスケープの分析を、経営判断やアクションに活用するためのビジョンが十分に明確に描けているか。
		上記について、ビジョンのみならず、実現を可能にする体制があるか。

個人情報・秘密情報の取扱い

本事業の利用申請にあたっては下記の個人情報の取扱いおよび秘密情報の取扱いについて同意の上、ご申請ください。

個人情報の取扱い

受託事業者である株式会社テックコンシリエ（以下「事務局」という）及び独立行政法人工業所有権情報・研修館（以下「INPIT」という）は、利用申請フォーム、添付資料その他の本事業に関連して提供いただく各情報に含まれる氏名、住所、電話番号及びメールアドレスなどの個人情報を、本事業を含むINPITの業務の目的において利用します。

また、本事業の利用申請者の承諾なしに本事業の受託事業者により特許情報等の分析の実施依頼がなされた特許情報分析会社等（以下、「連携する特許情報分析会社等」）、申請者所在地の知財総合支援窓口、INPITの関係者である経済産業省、特許庁（以下「関係者」という。）を除く第三者に提供いたしません。

秘密情報の取扱い

事務局及びINPITは、本事業において取得した利用申請者の秘密情報（利用申請フォーム記載内容、添付書類、調査結果等をいう。以下同じ）について、本事業の目的以外には使用いたしません。また、本事業の利用申請者の承諾なしに関係者を除く第三者に提供いたしません。ただし、次のものは前記秘密情報から除外します。

- 利用申請者が事務局に開示した時点で、公知・公用であったもの、又は事務局が所有若しくは第三者から入手していたもの
- 利用申請者が事務局に開示した後に、事務局、INPIT及び関係者の責によらず公知・公用となったもの、並びに事務局が第三者から入手したもの

なお、本事業の特性上、利用申請者、連携する特許情報分析会社等、事務局並びにINPITの四者間で、「IPL支援ポータル」等を通じた当該秘密情報を含む各種情報の授受が発生します。連携する特許情報分析会社等、事務局並びにINPITは、各種情報の授受に際して、一定のセキュリティ対策を講じた上で実施いたします。

選考結果へのご意見等の取扱い

本支援では、採択基準に基づき選考を行い、一定件数を支援案件として採択いたします。そのため、不採択となる場合もございますが、選考結果に対するご意見・ご質問、異議申立等についてはお受けできません。ご了承ください。

公募のスケジュール

令和８・９年度の2年間で8回程度の公募を実施予定です。

回	公募期間	審査結果の通知（予定）	採択件数（目安）
1	令和8年5月11日（月）～5月29日（金）17時	6月下旬を予定	合計200件程度
2	令和8年7月27日（月）～8月14日（金）17時	9月中旬を予定	
3	令和8年9月28日（月）～10月16日（金）17時	11月中旬を予定	
4	**令和8年11月2日（月）～11月20日（金）17時**	**12月下旬を予定**	
5	令和9年1月25日（月）～2月12日（金）17時	3月中旬を予定	
6	令和9年3月29日（月）～4月16日（金）17時	5月中旬を予定	
7	令和9年6月28日（月）～7月16日（金）17時	8月中旬を予定	
8	令和9年8月23日（月）～9月10日（金）17時	10月中旬を予定	

よくあるご質問（全般）

本事業の成果物は何ですか？	• 運営・調査員と専門家が分析の結果を取りまとめた報告書をご提供いたします。 • また、報告書の提供後に報告会を実施いたします。
利用料金はかかりますか？	• 利用者が費用を負担することはありません。 （本事業での専門家への報酬は（独）工業所有権情報・研修館が全額支援いたします）
フォローアップ調査とは何ですか？	• 支援後に、当事業の支援に対する効果測定のためのフォローアップ調査（アンケート及びヒアリング）にご協力いただく必要がございます。 • 結果は、今後の事業運営に反映させていただく予定です。
支援結果は公表されますか？	• 支援の結果（報告書）は公表されませんが、企業名・大学名等を（独）工業所有権情報・研修館のHPにて公表する場合がございます。 • また、事例集への事例掲載をお願いさせて頂く場合がございます。その場合、掲載内容については事前にご相談させていただきます。
経営層の参加は必要ですか？	• ヒアリング・中間報告会・最終報告会には、経営層の参加が必須でございます。事前に社内で合意をとったうえでのお申し込みをお願いいたします。 • 大学や研究機関の場合は、産学連携部門のリーダーや副リーダー層の方の参加を想定しております。
採択後にキャンセルはできますか？	• 利用申請が採択された後のキャンセルはお受けいたしかねますのでご留意ください。
本事業に専門家として関与したいのですが、どうすればよいですか？	• 最終ページに記載のお問い合わせ先までご相談下さい。

よくあるご質問（申請～採択）

本事業に一度採択されましたが、再度応募することは可能ですか？	• 過年度(令和4-7年度)のIPランドスケープ支援事業に採択された企業様であっても、過年度事業と重複しない調査内容となる場合であれば、本年度事業に再度応募いただけます。 • なお、令和8・9年度のIPランドスケープ支援事業に一度採択された企業様の再度の申請については、お受けできません。ただし、大学、研究機関等に関しては、研究テーマ・シーズの多さを考慮し、過去採択されたテーマと異なるテーマであれば申請を受け付けます。
審査の結果不採択となった場合、次回の公募に再び申し込むことは可能ですか？	• 可能です。利用申請フォームの記載について何かお悩みの際には、知財総合支援窓口による利用申請フォーム入力支援もご活用下さい。
採択・不採択の選考内容を知ることが出来ますか？	• 「採択」・「不採択」の結果はご報告いたしますが、採択基準に基づく選考内容の公表はしておりません。 • また、選考結果に対するご意見・ご質問、異議申立等についてはお受けできません。
スタートアップも本事業を利用できますか？	• 中堅・中小企業に包含されるスタートアップの方も本事業をご利用いただけます。
大学等、現時点で事業を行っていない場合どのように申請すればよいですか？	• 現時点で事業を実施されていない申請者様は、「大学・公設試等研究機関の申請者様用」の利用申請フォームをご利用ください。

よくあるご質問（支援内容）

P6～8の①②③の型以外の分析も可能ですか？	• もちろん可能です。本事業では、 **Ⅰ 市場探索型IPL（Where to Play）** **Ⅱ 製品開発型IPL（What to Create）** **Ⅲ 連携探索型IPL（With Whom）** を標準の型とさせていただき、ヒアリングでは各型の支援成果物のひな形を持参させていただきます。 • その中から選んでいただければ、ニーズに合った調査・分析が実施できると思いますが、それ以外の目的がある場合は、分析内容をすり合わせさせていただきます。ただし、以下の調査には対応ができません。 ✓ 他社特許の回避を目的とする調査（いわゆるFTO（Freedom To Operate）調査、抵触調査、特許侵害予防調査（パテントクリアランス調査）） ✓ 特許の出願方針の検討を目的とする調査 ✓ 他社の特許を無効にすることを目的とする調査 ✓ 知財情報を使用しない調査（例：財務調査/ニーズ調査のみ等）
分析を行う専門家は指定できますか？	• 利用申請フォームの記載内容を踏まえて、運営・調査員が適任と思われる専門家を選定いたします。利用者が専門家を指定することはできません。
「ヒアリング」とは実際に何を行うのですか？	• 利用申請フォームの内容に応じた調査分析の設計や報告書内容のすり合わせのため、運営・調査員と専門家がヒアリングを行います。 • ヒアリングは、原則対面とします。（オンラインをご希望の場合は、ご相談ください）
分析対象となる情報は何ですか？	• 本事業では、原則として市場や事業、知財等に関する一般に公開されている情報が分析の対象となります。

本事業にご関心をお持ちいただき、ありがとうございました。

是非お申し込みをご検討いただければ幸いです。
ご不明点やご質問がある場合は、ご遠慮なく以下の連絡先までご連絡ください。

(お問合せ先)
IPランドスケープ支援事業 事務局
電話：050-5810-8738
E-mail: ipl2026-2027@tech-consiglie.com

(INPIT担当)
知財活用支援センター　知財戦略部　スタートアップ支援担当
電話（代表）03-3581-1101　内線3841
E-mail：ip-sr06@inpit.go.jp

TECH CONSIGLIE
make it happen, make it possible

IPランドスケープ支援事業 公募説明会

【IPL支援ポータルの使い方】
～申請前に知っておきたいポイント～

株式会社テックコンシリエ

本日の内容

1. IPL支援ポータルで行うこと
2. 最初にやること（アカウントの作成）
3. 利用申請
4. 特に知っておいてほしいこと
5. IPL支援ポータル（マイページについて）
6. よくある質問

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

IPL支援ポータルで行うこと

1. 利用申請
2. 採択結果の確認
3. 事務局との連絡、資料などの受け取り
4. 担当者（運営調査員、専門家）との連絡
5. ヒアリング、報告会等の日程調整
6. 支援後のアンケート回答、フォローアップ調査



申請から支援完了まですべてをポータルで行いますので、
ブックマーク・お気に入り登録をしてください。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

最初にやること（アカウント作成）1/9



https://ipl2026-2027.inpit.go.jp/

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

最初にやること（アカウント作成）2/9



- こちらは、IPL支援ポータルのトップ画面です。
- 申請前にアカウントを作成します。右上の「ログイン」をクリックしてください。
  - ※公募期間外は「現在、公募期間外です」と表示されますが、右上の「ログイン」から進めます。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

最初にやること（アカウント作成）3/9



■ 👆ログイン画面。「**新規登録はこちら**」をクリックします。必要事項を入力し、「**登録する**」をクリックします。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

最初にやること（アカウント作成）4/9



■「登録完了」に切り替わりました。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

最初にやること（アカウント作成）5/9

受信トレイ



- メールアドレスの確認というタイトルのメールが送られてきます。
- 「**メールアドレスを確認**」をクリックします。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

最初にやること（アカウント作成）6/9



- 「**メール確認完了**」という画面に切り替わります。
- その後、ログイン画面に切り替わりましたら、登録した「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、ログインをクリックします。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

最初にやること（アカウント作成）7/9



- 「認証コード」を求められます。
- ログインする毎に「新しいコード」が送られてきます。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

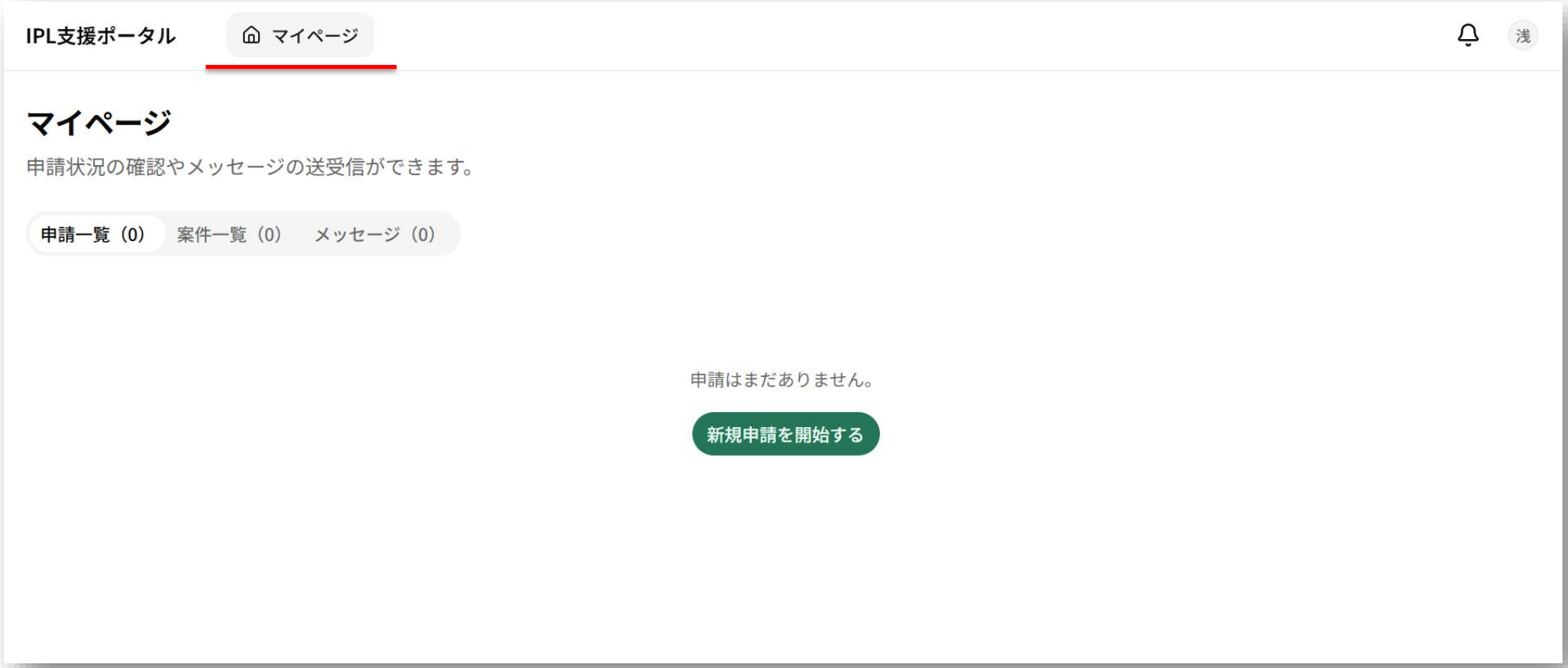
最初にやること（アカウント作成）8/9





Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

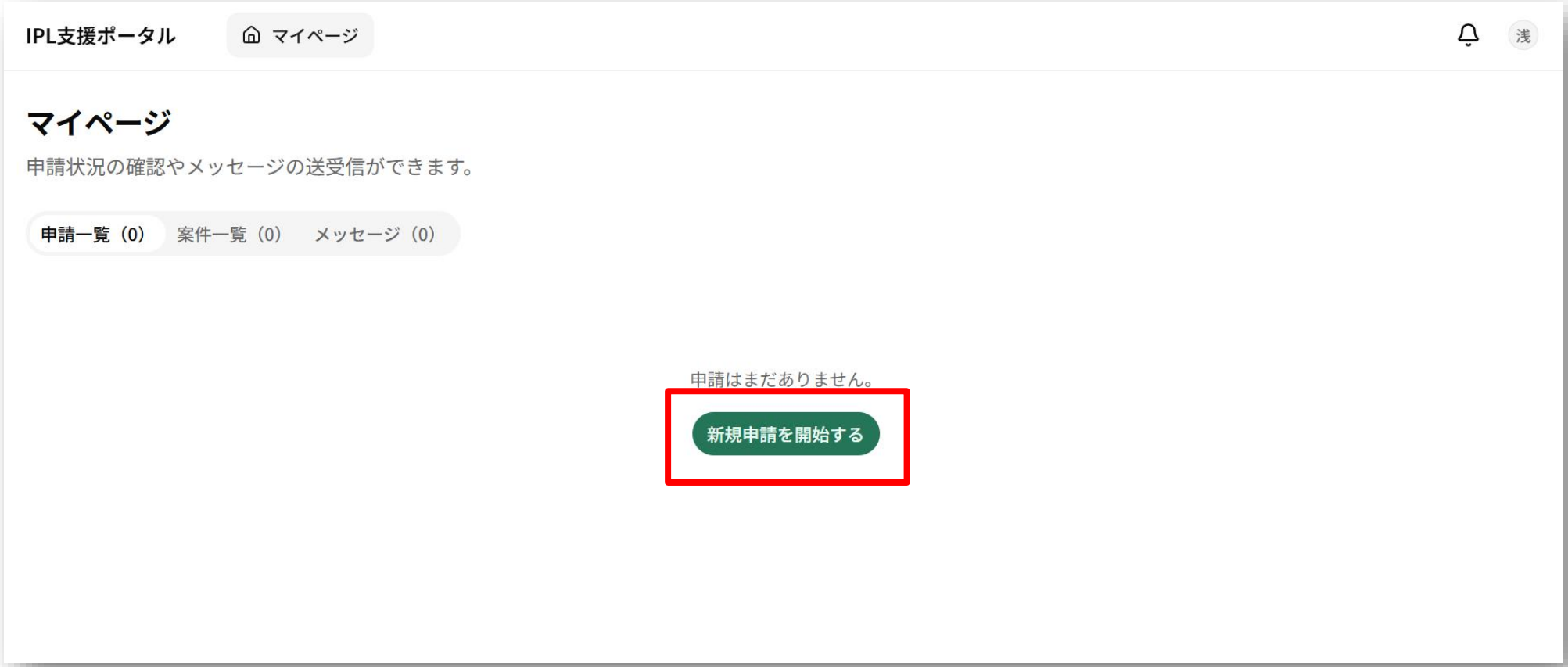
最初にやること（アカウント作成）9/9



- IPL支援ポータルの「マイページ」にログインした画面です。
- アカウント作成は完了です。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

利用申請　1/8



■ マイページにある緑の「**新規申請を開始する**」をクリックします。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

利用申請　2/8

新規申請

申請者区分を選択して申請を開始してください。

入力・送信にあたっての注意

本事業の利用申請にあたっては、以下の点にご注意ください。

① 必要事項を全てご記入ください
本ウィザードの各ステップ（同意書 / チェックリスト / 基本情報 / INPIT 窓口 / 設問 / 補足資料）にある全ての必須項目をご回答のうえ、提出してください。「記入例を見る」ボタンで各設問の参考例を、提出前の確認画面で採択基準をご確認いただけます。

② 申請の送信方法
公募受付期間中に本ウィザードから提出してください。申請受領から 2 営業日以内に、事務局より受領確認のメッセージをお送りいたします。申請送信日から 3 営業日以上経過しても事務局から連絡がない場合は、申請受付窓口（ipl2026-2027@tech-consiglie.com）宛にご一報ください。

③ 補足資料の位置づけ
利用申請フォーム以外に提出される資料は、あくまでフォーム記載を裏付けるための「補足」です。「設問」の回答欄で十分な説明をすることを心がけ、補足資料を添付する場合は参照すべき箇所を回答欄で明示してください。
（好ましい例）「… ●●性が★★である点が特徴であり（定量的な比較については補足資料1のP5参照）… 」
（好ましくない例）「… ●●性については補足資料1を参照。」

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

利用申請　3/8



Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

利用申請　4/8



1. **同意事項**　「個人情報」「秘密情報」「選考結果へのご意見等」3点の取扱い
2. **チェックリスト**　支援参加**条件の確認**（12項目）
3. **基本情報**　申請者の組織情報・連絡先
4. **窓口の支援**　知財総合支援窓口・知財戦略エキスパートの支援（任意）
5. **設問**　各設問の「記入例を見る」を参考に
6. **補足資料**　書類のアップロード（任意）

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

利用申請　5/8

基本情報



窓口の支援



Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

利用申請　6/8

申請内容の確認

入力内容を確認してください。問題がなければ提出してください。下部に参
ます。

1. 同意事項

個人情報・秘密情報・選考結果の取扱いへの同意　同意する

2. チェックリスト

経営層参加	
公開情報	
アンケート協力	
キャンセル不可	
窓口連携	
IPL支援ポータルからの申請	
IPL支援ポータル上のやり取り	
期限内回答	
オンライン会議ツール	Teams 使用可能

をしているが、洗浄剤の新事業においては効率的な活動ができるかが不明確な状況であり、社内での営業担当向けの技術習得研修を企画している。さらに、製品展開先として中国市場も視野に入れており、別事業で構築した販売先のチャネルやローカル情報を新製品でもそのまま流用可能と見ている。

編集に戻る

申請を提出

（参考）採択基準

1. 対象事業の現在・将来に関する設問

現在の分析、将来の構想の分析が、IP ランドスケープの分析結果を今後の活動方針の策定に活かしうるだけの具体性があるか。特に下記について具体的に回答されているか。

(#1-1) 将来の ① 価値 ② 製品やサービス ③ ビジネスモデル ④ 重要な経営資源（または他社との違いや競争力）が明確になっているか
(#1-2) 現在の ① 価値 ② 製品やサービス ③ ビジネスモデル ④ 重要な経営資源（大学・研究機関の場合は研究成果（シーズ）の社会実装に向けた活動状況）が明確になっているか
(#1-3) 将来の構想を実現するための課題が、現在を踏まえたうえで明確に検討されているか。また、課題に対する対応や検討が進められているか。

2. 本事業による支援のイメージに関する質問

本事業による支援をとおして解決したい課題は、経営層が検討する企業戦略や事業の全体戦略に関する課題であるか。
本事業による支援をとおして解決したい課題は、本事業の支援で解決に寄与できるものか。

3. 支援後の活用ビジョン

IP ランドスケープの分析を、経営判断やアクションに活用するためのビジョンが十分に明確に描けているか。
上記について、ビジョンのみならず、実現を可能にする体制があるか。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

利用申請　7/8



Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

利用申請　8/8　（提出後の編集）





Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

特に知っていてほしいこと

- 申請後、事務局との連絡は、すべて**ポータルの「メッセージ」**でおこないます

- 申請は、**定期的にポータルにログインできる方のアカウント**から行ってください
- （申請者側でログインできるのは1名です。採択後は日程調整などのやり取りが頻繁に発生します）

- 申請フォームは、**途中保存**できます（いつでも再開可能）

- **ヒアリング・中間報告会・最終報告会には、経営層の参加が必須**です。
  事前に社内で合意をとったうえでの申請をお願いいたします。
  （大学や研究機関の場合は、産学連携部門のリーダーや副リーダー層の方の参加を想定しております。）

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

マイページについて



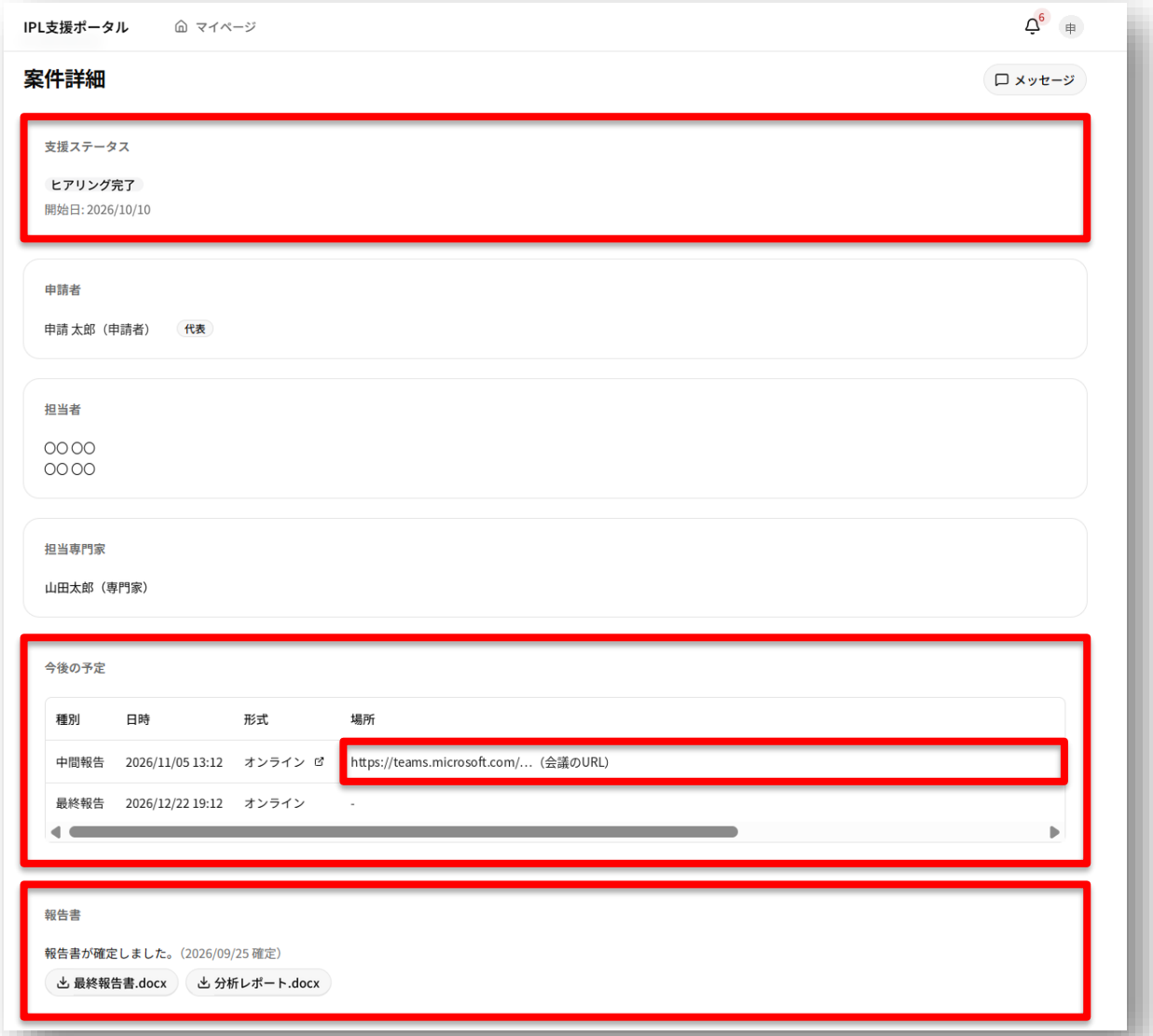
Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

マイページについて



Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

マイページについて（案件詳細）



採択後、「案件一覧」から案件を開くと「案件詳細」が表示されます。

案件詳細には、さまざまな情報が格納されます。

- **支援ステータス**
  現在の支援の進み具合
- **今後の予定**
  中間報告・最終報告の日時と形式
- **オンライン会議のリンク**
  報告会に参加するときのURL
- **最終報告書の格納**
  確定した報告書をダウンロード

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

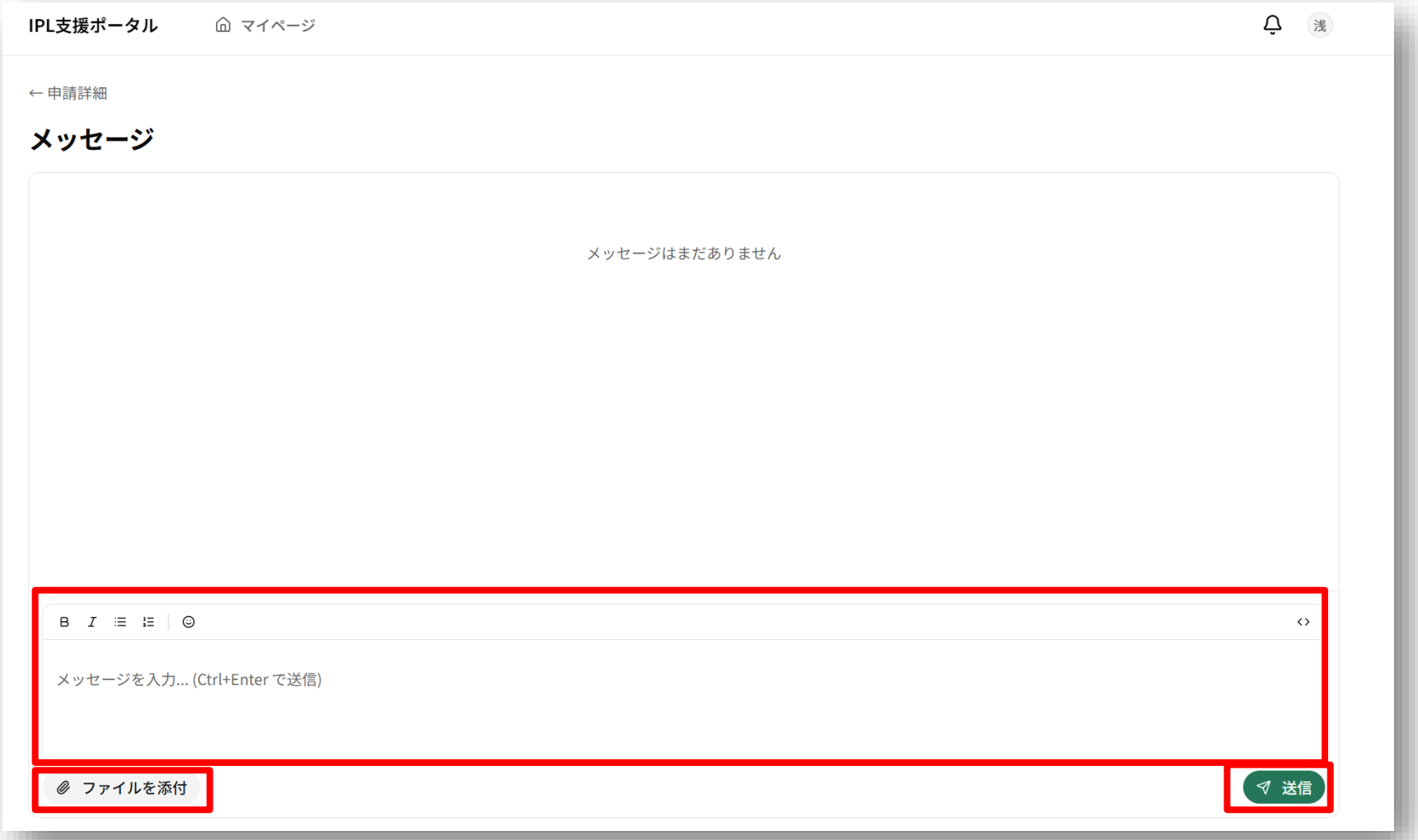
マイページについて



■ 申請が完了すると事務局とのメッセージのやりとりができるようになります。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

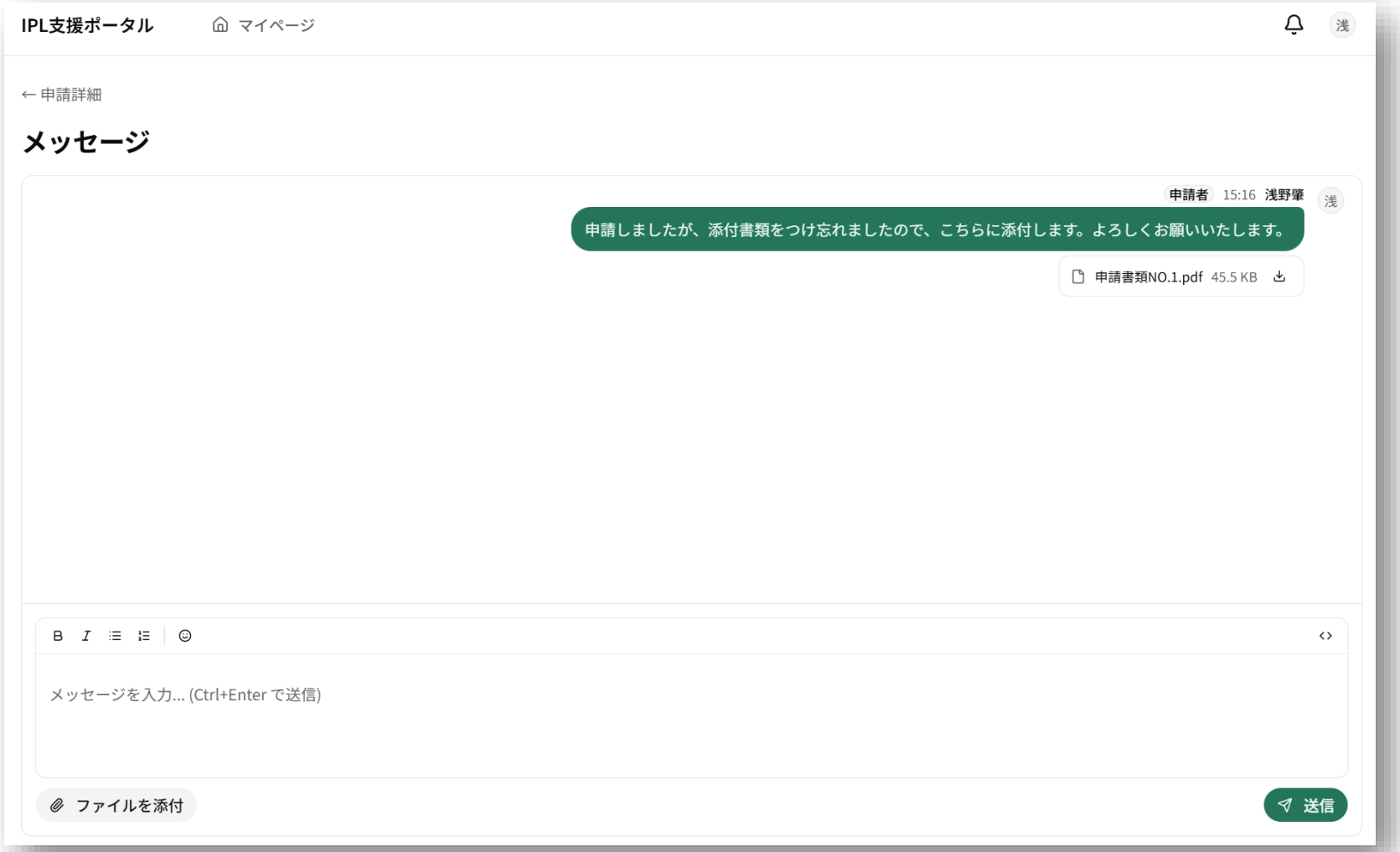
マイページについて



■ 申請が完了すると事務局とのメッセージのやりとりができるようになります。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

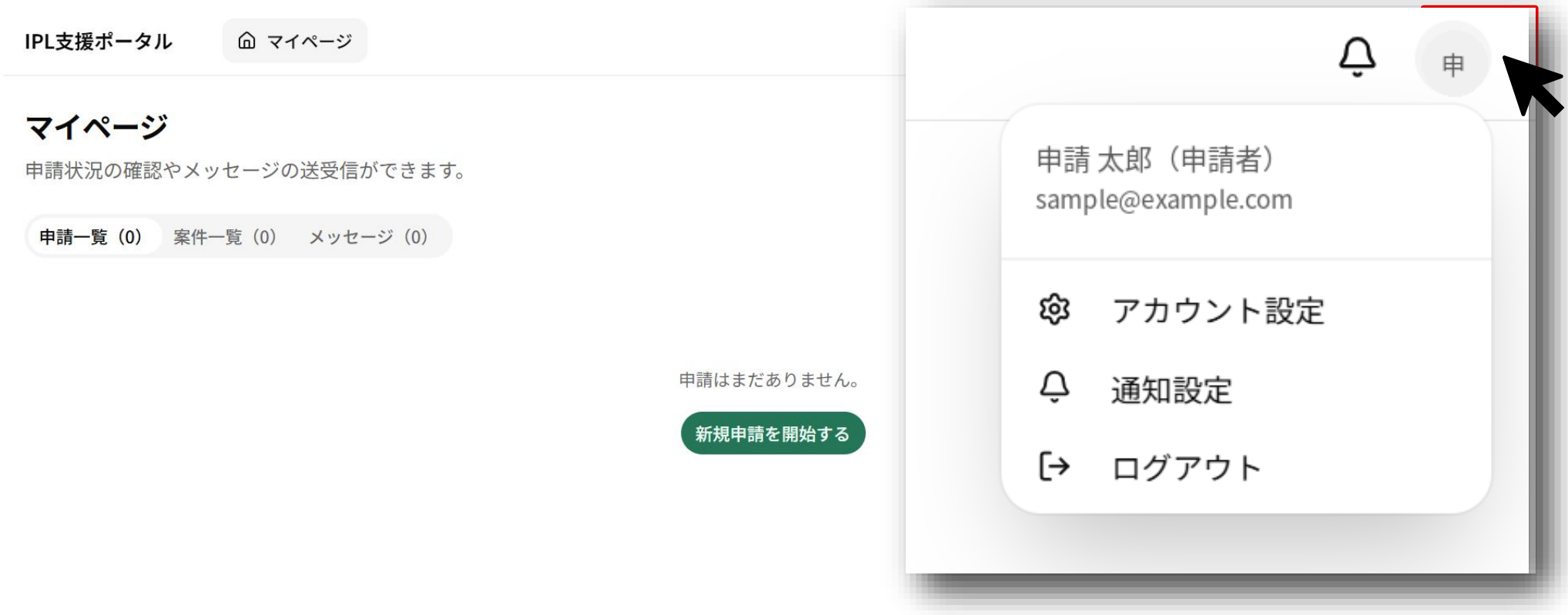
マイページについて



■ 申請が完了すると事務局とのメッセージのやりとりができるようになります。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

マイページについて

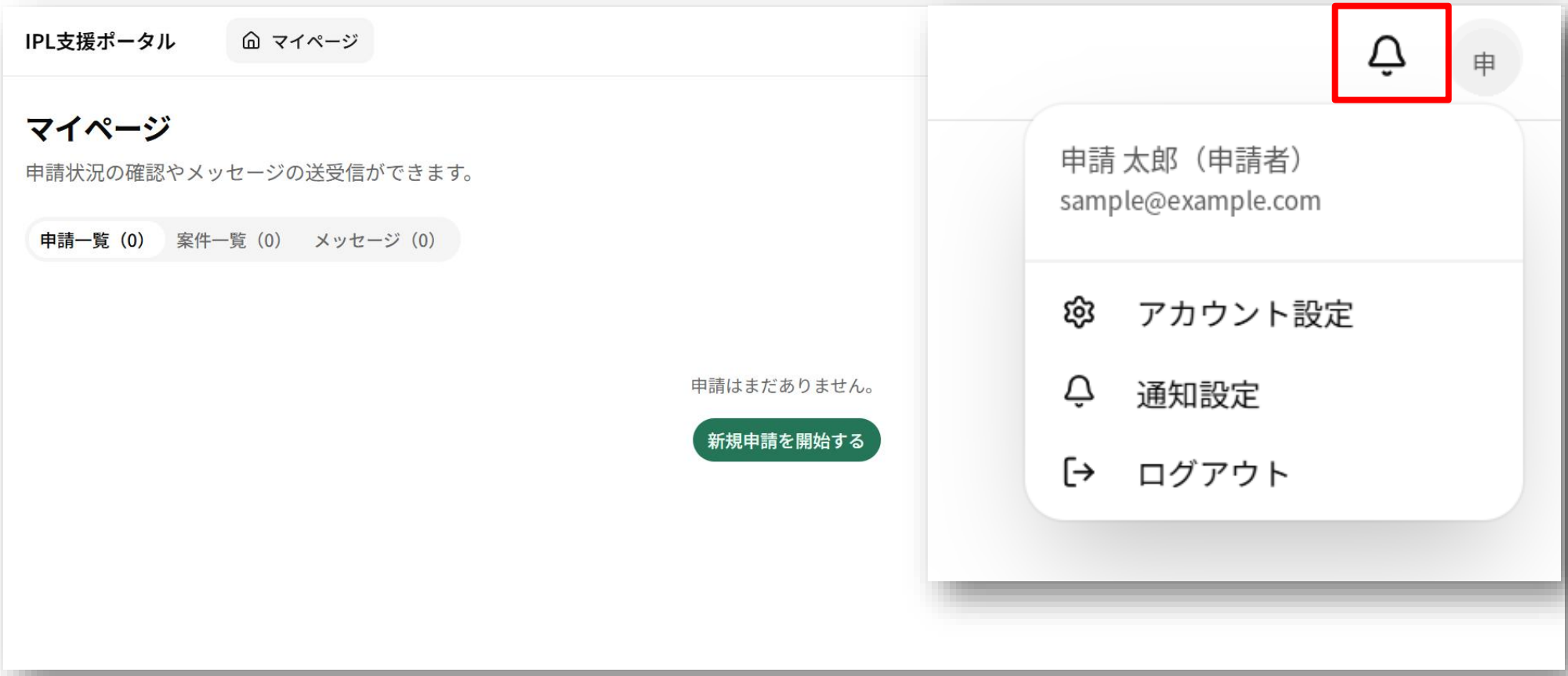


■ 名前アイコン＞

アカウント設定＞パスワードの変更、多要素認証方式の変更

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

マイページについて



■ ベルマークのアイコン

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

マイページについて



■ 申請受付、採択のお知らせ、ヒアリングの日程、中間報告の日程等

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

よくある質問（1）



■ パスワードを忘れました

→ログイン画面の「パスワードを忘れた方」からリセットできます。

■ 認証コードが届きません

→ネットワーク環境によっては、届くまでに最大1分程度かかることがあります。
届かない場合は「コードを再送する」を押してお待ちください。
※迷惑メールフォルダなども確認してください。

■ 認証コードのメールがブロックされて、コードが届きません

→認証アプリを使うログイン方法（TOTP方式）に切り替えられます。
手順は本資料の補足資料（多要素認証について）をご覧ください。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

よくある質問（2）

■ 申請後に、申請フォームを修正したい箇所が見つかりました

→審査に移るまで（提出後1週間程度）は修正できます。
「申請内容を編集」ボタンから編集してください。

■ 申請者側で複数の人がログインしたい／メッセージを複数人で見たい

→セキュリティの観点から、ログインできるのは申請者1名（1アカウント）です。
代表の方がメッセージを確認し、社内の関係者へ共有してください。

■ 異動などで担当者が変わります

→登録メールアドレスを変更できます。変更前の担当者から事務局へ、
新しい担当者のお名前とメールアドレスをご連絡ください。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

いつでもご相談ください！

- **まずは、「アカウントの新規作成」をお願いします。**
- アカウントの作成ができましたら、ログインしていただき、ご自身のマイページ画面をご覧ください。
- 操作に関してご質問等があれば、遠慮なくお問い合わせください。

事業運営に関する具体的なお問合わせ先（申込手続等）

「IPランドスケープ支援事業」事務局
株式会社テックコンシリエ
電話：050-5810-8738
E-MAIL： ipl2026-2027@tech-consiglie.com
受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝・年末年始を除く）



TECH CONSIGLIE

make it happen, make it possible

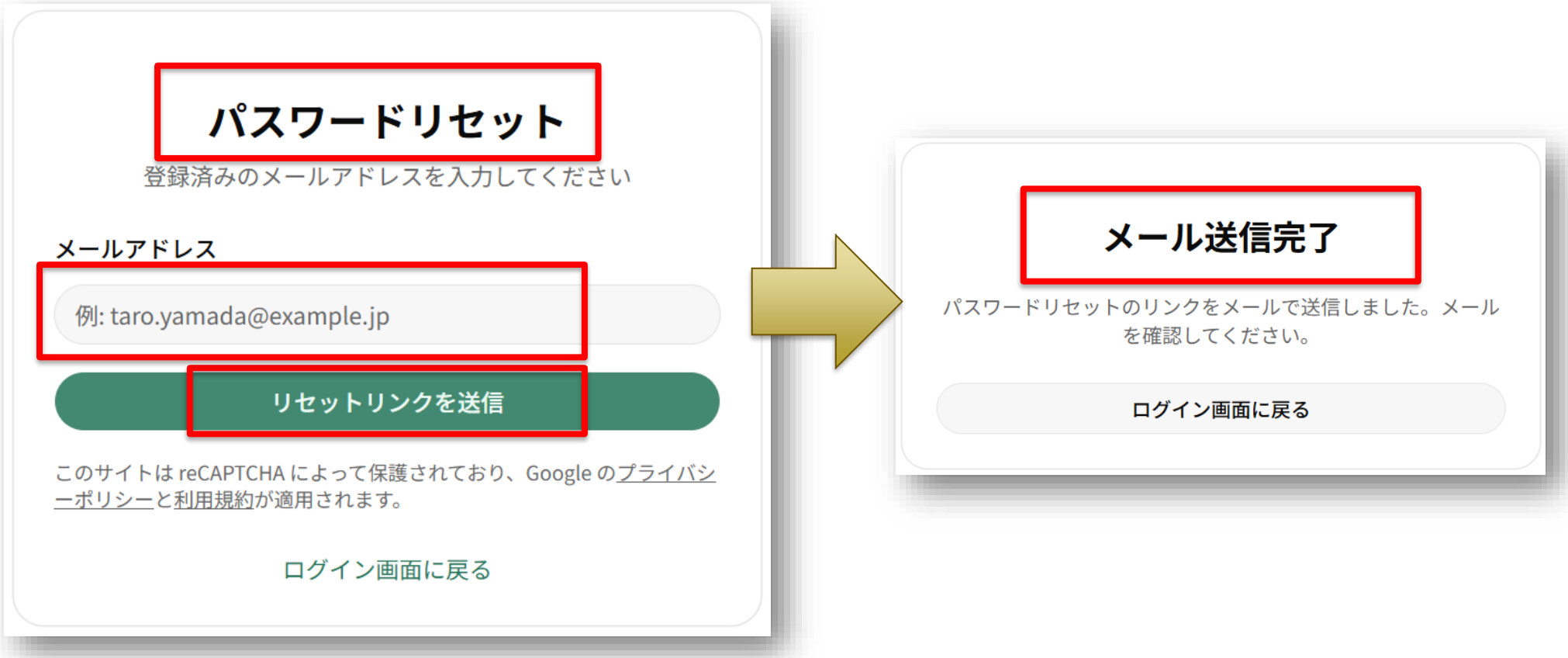
（補足資料）パスワードのリセット方法　1/3



■ IPL支援ポータルのログイン画面に行き、「**パスワードを忘れた方**」をクリックします。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

（補足資料）パスワードのリセット方法　2/3



- 登録済のメールアドレスを入力し、「**リセットリンクを送信**」をクリックします。
- 左の画面が表示されます。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

（補足資料）パスワードのリセット方法　3/3





- パスワードリセット案内のメールが届きますので、緑の「**パスワードをリセット**」をクリックします。
- 新しいパスワードを設定してください。最後に「**パスワードを変更する**」をクリックします。リセット完了です。

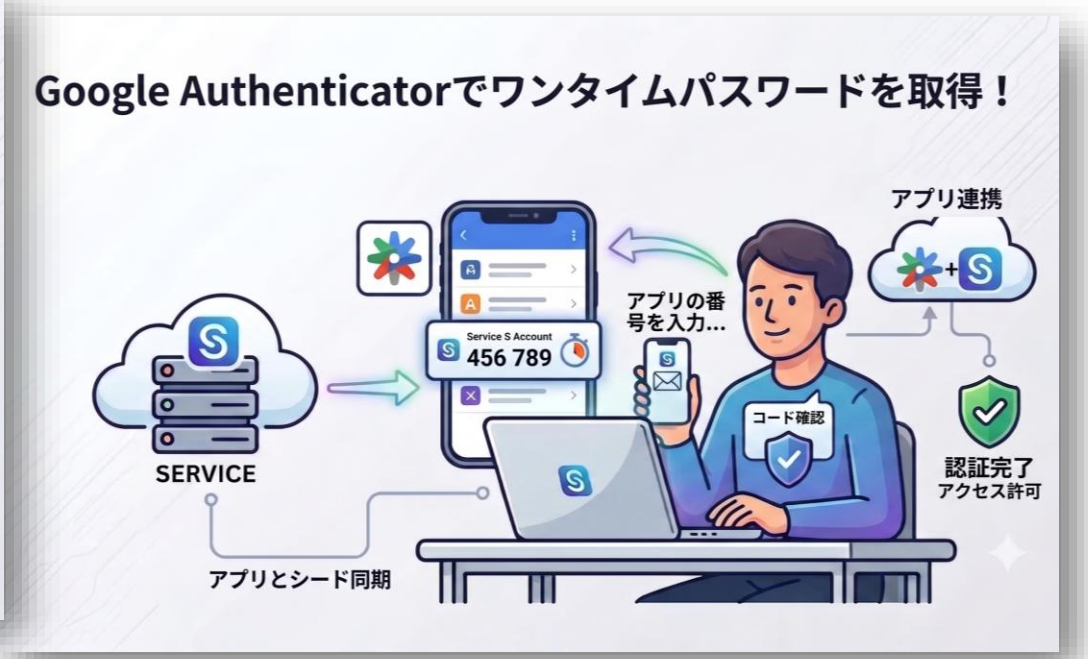
Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

（補足資料）多要素認証について　1/7

①（初期設定）メールOTP方式



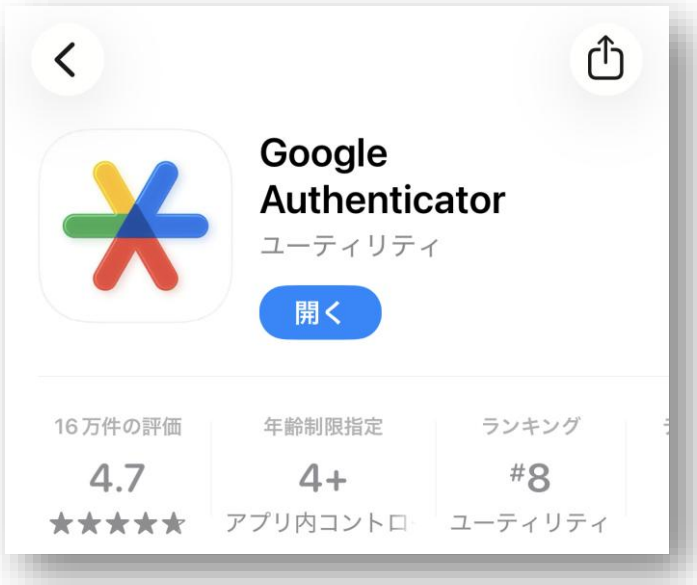
②認証アプリを利用　TOTP方式

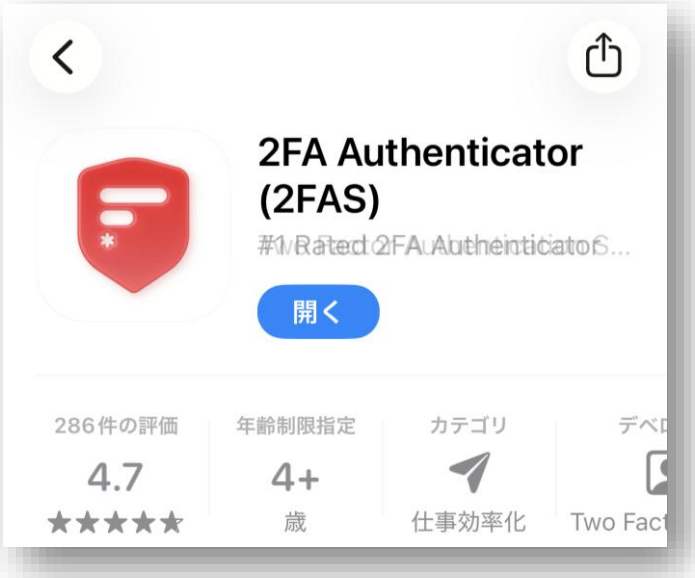


2種類のやり方があります。TOTP方式へ切り替えることも可能です。
再びメールOTPへ戻すこともできます。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

（補足資料）多要素認証について　2/7





■　認証アプリ（Google Authenticator、２FAS　など）をスマホにダウンロードします。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

（補足資料）多要素認証について　3/7



■ 名前の文字アイコンをクリックし、「⚙アカウント設定」をクリックします。

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

（補足資料）多要素認証について　4/7



■ アカウント設定＞多要素認証（MFA）

①「変更先の方式」 ⇒　認証アプリ（TOTP)を選択

②現在のパスワードを入力

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

（補足資料）多要素認証について　5/7



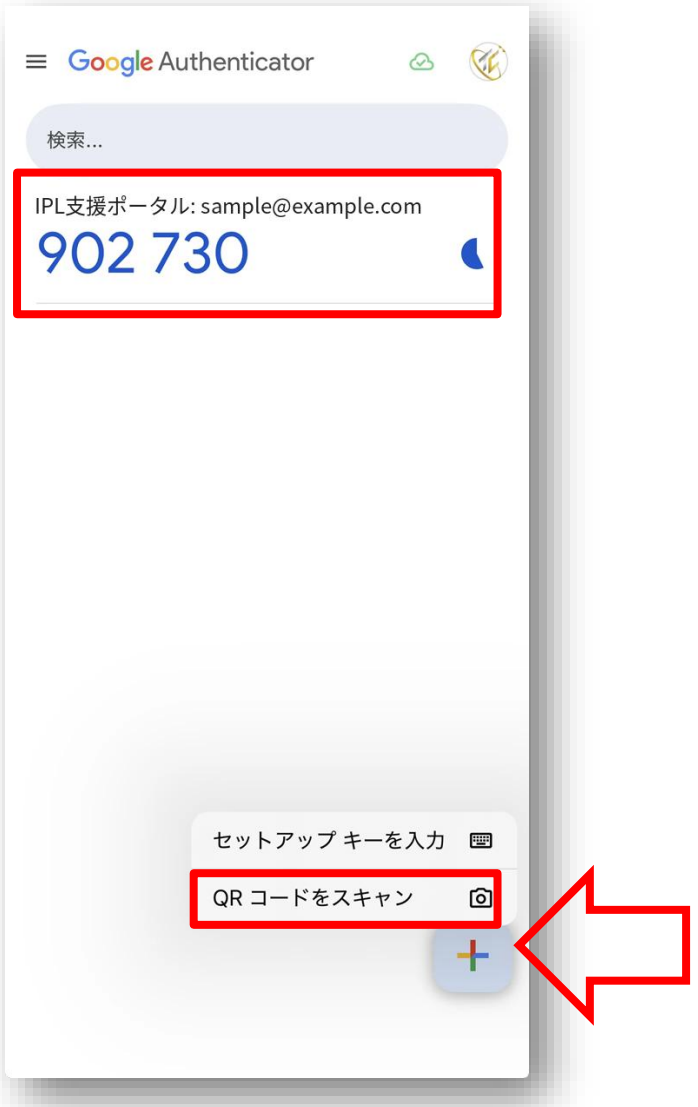
方式変更を開始をクリック



- Google Authenticatorアプリ内のQRコードをスキャンするところからQRコードを読み取ります。または、英数字で書かれた「キー（文字列）」を自分でコピー＆ペースト（または直接入力）して設定

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

（補足資料）多要素認証について　6/7



Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.

（補足資料）多要素認証について　7/7



■ 認証アプリで生成された6桁のパスワードを入力
変更を確定をクリック　＞　認証アプリ（TOTP方式）に変更されました

Copyright ©TECH CONSIGLIE Inc. All rights reserved.



TECH CONSIGLIE

make it happen, make it possible